

2009年西日本F4シリーズ第3戦

吉田広樹
〈岡山国際サーキット〉

7月3日 フリー走行 DRY

前回のレースから約1か月のインターバルを挟み、岡山県の「岡山国際サーキット」で西日本F4シリーズ第3戦が開催されました。第2戦の鈴鹿で3位表彰台を獲得し、今回のレースは優勝のみを狙いサーキット入りしました。

久しぶりの岡山だったこともあり、セッション開始と共にコースイン。まずは持ち込みのセットを確認しながら周回を重ねます。少ないフリー走行でベストなセッティングを見つけるため積極的にピットインし、セットチェンジを行います。涼しくなった最後のセッション他車がNEWタイヤでアタックを行う中、中古タイヤでアタックを開始。その結果徐々にタイムを刻み1'31.7と2位に0.5秒差でトップに立ち、この日の走行を終えました。

7月4日 フリー走行2日目 DRY

今回のレースは金・土とフリー走行を行い、日曜日に予選決勝が行われる1DAY開催だったため、この日も朝からフリー走行が行われました。この時期になると気温や路面温度がマシンバランスやタイムに大きく影響を及ぼすため予選時間に一番近いセッションでNEWタイヤを入れアタック行いました。しかし昨日の中古タイヤでのアタックに比べるとNEWタイヤでグリップが上がった分アンダーステアが強く、タイムもイメージ伸びません。そこからタイヤのグリップは徐々に下がっていくのですが、そういう状況でもNEWタイヤでのグリップをイメージし予選に向けて積極的にマシンのセットチェンジを行いました。けれども昨日のようないい感触を得れないまま翌日の予選を迎えることになりました。

7月5日 公式予選 DRY 予選4番手

この日は朝からフリー走行が行われず、いきなり公式予選となります。このF4タイヤの特徴として、NEWタイヤのいいパフォーマンスを発揮できるのが計測2～3周目くらいと凄く短い間しかありません。その時に自分の体も一番いいパフォーマンスを発揮できる状態にしなければならないため、しっかりイメージして予選に挑みました。計測1周目でしっかりタイヤを温め2周目からアタックを開始。このアタックではフロントタイヤを温めきれずアンダーステアが強かったため、続けて3周目のアタックに入ります。集中してタイヤの限界を探りながらアタックを行っていたのですが、あるコーナーで縁石を踏いでもしまい痛恨のスピン。すぐにコース復帰し再度アタックを行ったのですが、タイヤのいいところは過ぎてしまいタイムアップ出来ないまま1'32.0というタイムで4番手で公式予選を終える事となりました。



Team Naoki
with
Laprod
LAPROD
LAPROD

<NO.1>

2009年西日本F4シリーズ第3戦

吉田 広樹
〈岡山国際サーキット〉



か考えていなかったし、このようなレースをしているようではこの先に繋がらないことも十分実感しています。

この状況を変えるには、今回のレースをしっかりと振り返り次のレースで優勝するしかないと思うので、次のレースまでにやれることは何でもやってレースに挑みたいと思います。

今後とも、ご指導・ご支援宜しくお願い致します。

TeamNAOKI with LE PRIX SPORT

吉田 広樹

決勝 WET→DRY 5番手

予選後、メカニックさんと相談し昨日までのバランスから決勝セットに変更します。しかし天候は曇り空から徐々に雨雲へと変わり、決勝前にはWET路面へと変化しました。その後雨脚は弱まったことから、全車スリックタイヤでフォーメーションラップが開始。フロントとリヤのバランスを考えながらしっかりタイヤを温め、シグナルに集中し決勝レースのスタートです。

シグナル消灯と共にクラッチミートしたのですが、ホイールズピンが多く1コーナーまでに他車に抜かれてしまいます。

その後は前車に喰らい付き隙を伺っていたのですが、自分のマシンバランスも悪く中々仕掛けるまではいきません。そんな中アウトウッドコーナーで少しリヤタイヤを滑らしてしまい、次のヘアピンコーナーでアウト側にならばれてしまいます。ブレーキングではしっかりイン側をキープしたのですが、次のコーナーが左コーナーだったため、そこでパスされてしまい1つ順位を落してしまいました。直後にブレーキングで仕掛けたのですが抜くまでには至らず、最終的に5位でチェッカーを受けることとなりました。

今回のレースを振り返り、金曜日までは流れは良かったのですが土曜日から予選でのスピン、そしてなにより決勝レースでのペースの悪さなど本当に悔しいレースになってしまいました。自分がこのレースに出る以上優勝し



Team Naoki
with
Laprod
LE PRIX SPORT

<NO.2>